事業番号　新25-0002

平成２４年行政事業レビューシート　（厚生労働省）

事業名	ドクターヘリ運航支援等経費	担当部局庁	医政局	作成責任者
事業開始・終了（予定）年度	平成25年度～	担当課室	指導課　救急・周産期医療等対策室	室長：佐久間敦
会計区分	一般会計	施策名	Ｉ－１－１　日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること	
根拠法令（具体的な条項も記載）	－	関係する計画、通知等	－	

事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）

GPSを搭載したドクターヘリについて、広域運用や運用に係る事後検証を可能とし、また、リアルタイムにドクターヘリの位置を把握することが可能となることで、災害時等において、ドクターヘリを効率的、効果的に運用することが可能となる。

事業概要（5行程度以内。別添可）

GPSを搭載したドクターヘリの広域運用や運用に係る事後検証、また、リアルタイムにドクターヘリの位置を把握するため、厚生労働省及びDMAT事務局にモニター等を設置するもの。

実施方法　■直接実施　□委託・請負　■補助　□負担　□交付　□貸付　□その他

予算額・執行額（単位：百万円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
予算の状況	当初予算					32
	補正予算					
	繰越し等					
	計					32
執行額						
執行率（%）						

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値（　年度）
モニター等の設置	成果実績	－	－	－	－	－
	達成度	%	－	－	－	

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
広域運用や運用に係る事後検証数	活動実績	－	－	－	－	－
	（当初見込み）		－	（　－　）	（　－　）	（　－　）

単位当たりコスト　－　　算出根拠　－

平成24・25年度予算内訳

	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
補助金	－	21	平成25年度新規要求
庁費	－	11	日本再生戦略に関する「特別重点要求」（ライフ分野）　32百万円
計	0	32	

事業所管部局による点検			
	評 価	項　　目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・救急医療は、国民が安心して暮らしていく上で、欠かすことのできないものである。 ・救急医療の充実を図っていくためにも、国の施策として実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	－
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	－
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	新規事業として、平成25年度概算要求		

予算監視・効率化チームの所見
ドクターヘリ運航支援等経費については、ドクターヘリの効率的、効果的な運用ができるようGPSを搭載するための支援や無線のデジタル化への対応に対する支援等を行うものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）
－

補記 （過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）
－

関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	－

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）	

費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A.岩手県		
費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

E.		
費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

B.		
費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

F.		
費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

C.		
費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

G.		
費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

D.		
費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

H.		
費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支　出　先	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

事業番号　新25-0003

平成２５年行政事業レビューシート　（厚生労働省）

事業名	口腔保健推進事業	担当部局庁	医政局	作成責任者
事業開始・終了（予定）年度	平成25年度～	担当課室	歯科保健課	課長：上條英之
会計区分	一般会計	施策名	Ｉ－１－１　日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること	
根拠法令（具体的な条項も記載）	－	関係する計画、通知等	・平成23年8月10日公布、施行「歯科口腔保健の推進に関する法律」 ・平成24年7月23日告示「歯科口腔保健の推進に関する法律基本的事項」	
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	各都道府県が、地域の実情に応じた総合的な歯科口腔保健施策を推進するための財政支援を行う。			
事業概要（5行程度以内。別添可）	「歯科口腔保健の推進に関する法律」に基づき、法律に規定する歯科口腔保健施策を推進するため、以下4事業に対し財政支援を行う。 ①地方公共団体に歯科口腔保健支援センターを設置し、地域の実情に応じた施策を進めるための体制の確保 ②歯科口腔保健医療サービスを受けることが困難な障害者等への検診の実施等 ③障害者等の歯科口腔保健医療サービスに対応出来る技術者の育成 ④医科・歯科連携の先駆的な取組に対する安全性や効果等の実証等			
実施方法	□直接実施　□委託・請負　■補助　□負担　□交付　□貸付　□その他			

予算額・執行額（単位：百万円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
予算の状況	当初予算					92
	補正予算					
	繰越し等					
	計					92
執行額						
執行率（%）						

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値（24年度）
口腔保健支援センター設置箇所	成果実績		－	―	－	－
	達成度	%	－	－	－	

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
補助を行ったか所数	活動実績（当初見込み）	数	－	－ （　－　）	－ （　－　）	― （　－　）

単位当たりコスト	－	算出根拠	－

平成24・25年度予算内訳

費　目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
医療施設等運営費等補助金	－	92	平成25年度新規要求
計	－	92	

事業所管部局による点検			
	評 価	項　　目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・地域における歯科口腔保健の推進は、国民が口腔の健康を保ち質の高い生活を営む上で重要な役割である。 ・「歯科口腔保健の推進に関する法律」に基づき、法律に規定する総合的な施策を進められるように国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	－
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	－
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	新規事業として、平成25年度概算要求		

予算監視・効率化チームの所見
口腔保健推進事業費については、歯科口腔保健法の公布・施行を受け、都道府県等が行う歯科口腔保健の推進に関する取組に対して支援を行うものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）
－

補記 （過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）
－

関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	－

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）	

費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

	費 目	使 途	金 額（百万円）
	計		0

	費 目	使 途	金 額（百万円）
	計		0.0

	費 目	使 途	金 額（百万円）
	計		0

	費 目	使 途	金 額（百万円）
	計		0

	費 目	使 途	金 額（百万円）
	計		0

	費 目	使 途	金 額（百万円）
	計		0

	費 目	使 途	金 額（百万円）
	計		0

	費 目	使 途	金 額（百万円）
	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支　出　先	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	入札者数	落札率
1					

B.

	支　出　先	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	入札者数	落札率
1					

事業番号　新25-0004

平成２４年行政事業レビューシート　（厚生労働省）

事業名	専門医認定支援事業（仮称）	担当部局庁	医政局	作成責任者
事業開始・終了(予定) 年度	平成25年度～	担当課室	医事課	課長:田原克志
会計区分	一般会計	施策名	Ｉ－１－１　日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること	
根拠法令（具体的な条項も記載）	－	関係する計画、通知等	－	
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	医師の質の一層の向上及び医師の偏在是正を図るため、専門医に関する新たな仕組みを導入することとし、専門医認定のための基準の検討や研修病院(群)が作成する研修プログラムの認定など、研修実施体制を確保するために必要な経費について、中立的な第三者機関に対して財政支援を行う			
事業概要（5行程度以内。別添可）	中立的な第三者機関が行う以下の事業について財政支援を行う ①基本診療領域(18領域＋総合医)やサブスペシャルティ領域(17領域)ごとの到達目標やカリキュラムなど、専門医認定のための基準等の検討 ②研修病院(群)ごとの研修プログラム認定のための訪問調査 ③訪問調査を担当するサーベイヤーの養成するための講習会の開催 ④総合医を含めた専門医制度の普及・啓発事業 ⑤専門医・認定施設情報等データベース作成			
実施方法	□直接実施　□委託・請負　■補助　□負担　□交付　□貸付　□その他			

予算額・執行額（単位:百万円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
予算の状況	当初予算					252
	補正予算					
	繰越し等					
	計					252
執行額						
執行率（%）						

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値（　年度）
研修プログラム認定数	成果実績					
	達成度	%				

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
専門医研修実施施設数	活動実績（当初見込み）			(　)	(　)	― (　)

単位当たりコスト	－	算出根拠	－

平成24・25年度予算内訳

費　目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
専門医認定支援事業(仮称)	－	252	平成25年度新規要求
計	0	252	

事業所管部局による点検			
	評 価	項　　目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・医師の質の一層の向上及び偏在是正を図ることは国民のニーズがあり、優先度は高い ・専門医の認定や基準の作成等を中立的な第三者機関が行うにあたっては、国からの財政支援が必要
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	－
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	－
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	新規事業として、平成25年度概算要求		

予算監視・効率化チームの所見
専門医認定支援事業については、中立的な第三者機関を設立し、専門医認定のための基準の検討、研修プログラムの認定及び研究等の指定により研修実施体制を確保するための支援を行うものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）
－

補記 （過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）
－

関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	－

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）	※平成23年度実績を記入

費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

B.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

C.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

D.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

E.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

F.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

G.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

H.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支　出　先	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

事業番号　新25-0005

平成２４年行政事業レビューシート　（厚生労働省）

事業名	地域医療再生計画に係る有識者会議開催経費	担当部局庁	医政局	作成責任者
事業開始・終了（予定）年度	平成25年度～	担当課室	指導課　医師確保等地域医療対策室	室長：平子哲夫
会計区分	一般会計	施策名	Ｉ－１－１　日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること	
根拠法令（具体的な条項も記載）	－	関係する計画、通知等	－	

事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）

各都道府県で実施している地域医療再生計画について、厚労省として計画の進捗状況を把握しておく必要がある。
現在、厚労省内で実施している「地域医療再生計画に係る有識者会議」において、47都道府県を個別に呼び、それぞれの計画の進捗や成果を把握することは、非常に非効率であるため、各ブロック（北海道、東北、関東信越、東海北陸、近畿、中国、四国、九州）単位で有識者会議を開催するとともに、事業が行われている現地視察を行うことにより、計画をより充実したものにする。

事業概要（5行程度以内。別添可）

各ブロック毎に現地で有識者会議を開催し、各県関係者から事業の進捗状況や成果についてヒアリングを行うもの。厚労省からは、職員及び有識者会議委員が分散して会議に出席（1会議毎に合計3～4人）し、その場でアドバイス等を行う。
また、ヒアリング内容を踏まえ、事業が行われている現地調査を行うことにより、計画の書面だけでは把握しきれない現状を確認する。
なお、本省内においても、各ブロック毎のヒアリング等の報告等を行う有識者会議を開催する。

実施方法　■直接実施　□委託・請負　□補助　□負担　□交付　□貸付　□その他

予算額・執行額（単位：百万円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
予算の状況	当初予算					12
	補正予算					
	繰越し等					
	計					12
執行額						
執行率（%）						

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値（　年度）
各ブロックにおいて有識者会議を開催することにより、国においても都道府県毎の成果や進捗状況を把握・管理し、計画をより充実したものとする事業であり、定量的な目標設定は困難。	成果実績	－	－	－	－	－
	達成度	%	－	－	－	

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
有識者会議の開催数	活動実績（当初見込み）	－	－ －	－ （　－　）	－ （　－　）	－ （　－　）

単位当たりコスト　－　　算出根拠　－

平成24・25年度予算内訳

	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
諸謝金	－	2.0	平成25年度新規要求
委員等旅費	－	1.9	
職員旅費	－	1.9	
庁費	－	6.0	
計		11.7	

事業所管部局による点検			
	評 価	項　　目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・地域における医師確保や救急医療体制の整備は、国民の生活を守る上で重要な課題である。 ・国として、地域の医療提供体制の整備を支援する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・同会議の開催に必要な経費のみを計上している。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	－
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	新規事業として、平成25年度概算要求		

予算監視・効率化チームの所見
地域医療再生計画に係る有識者会議開催経費については、地域医療再生計画について、ブロックごとに現地で有識者会議を開催し、各県関係者からヒアリングを行うものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）
－

補記 （過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）
－

関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	－

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）	

費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A.岩手県		
費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

E.		
費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

B.		
費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

F.		
費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

C.		
費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

G.		
費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

D.		
費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

H.		
費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支　出　先	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

事業番号　新25-0006

平成２４年行政事業レビューシート　（厚生労働省）

事業名	多職種協働によるチーム医療の推進事業	担当部局庁	医政局	作成責任者
事業開始・終了（予定）年度	平成25年度～	担当課室	医事課	課長：田原克志
会計区分	一般会計	施策名	Ｉ－１－１　日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること	
根拠法令（具体的な条項も記載）	－	関係する計画、通知等	「チーム医療の推進について」（平成22年3月19日 チーム医療の推進に関する検討会取りまとめ）	
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	質の高いチーム医療の実践を全国の医療現場に普及定着させ、看護師、薬剤師等医療関係職種の業務の効率化・負担軽減等を図るとともに、質の高い医療サービスを実現する。			
事業概要（5行程度以内。別添可）	質の高いチーム医療の更なる普及・定着を図るためには、より一層の職種間連携や患者への普及が必要であることから、病院団体、職能団体による研修を実施する。			
実施方法	□直接実施　■委託・請負　□補助　□負担　□交付　□貸付　□その他			

予算額・執行額（単位：百万円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
予算の状況	当初予算					87
	補正予算					
	繰越し等					
	計					87
執行額						
執行率（%）						

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値（　年度）
医療施設従事医師数 平成18年：263,540人、平成20年：271,897人（103.2%） ※医師・歯科医師・薬剤師調査より（2年ごと）	成果実績	人	－	280,431	－	前回調査以上
	達成度	%	－	103.1	－	

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	25年度活動見込
事業実施施設	活動実績（当初見込み）	施設数	－	－	－ （　―　）	― （　8　）

単位当たりコスト	－	算出根拠	－

平成24・25年度予算内訳

費　目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
多職種協働によるチーム医療の推進事業委託費	－	87	平成25年度新規要求
計	0	87	

事業所管部局による点検			
	評 価	項　　目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・社会保障・税一体改革大綱においても、チーム医療を推進するとされており、質の高いチーム医療の実践を全国の医療現場に普及定着させるために必要な事業である。 ・効果的、効率的に行うには国で実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	－
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	－
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	新規事業として、平成25年度概算要求		

予算監視・効率化チームの所見
多職種協働によるチーム医療の推進事業は、質の高いチーム医療の普及・啓発を図るため、病院団体や職能団体により研修を実施するものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）
－

補記 （過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）
－

関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	－

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）	※平成23年度実績を記入

費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

B.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

C.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

D.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

E.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

F.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

G.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

H.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支　出　先	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

事業番号　新25-0007

平成２４年行政事業レビューシート　（厚生労働省）

事業名	保健医療福祉分野の公開鍵基盤（HPKI）普及・啓発事業	担当部局庁	医政局	作成責任者
事業開始・終了（予定）年度	平成25年度～	担当課室	研究開発振興課　医療技術情報推進室	室長：石井安彦
会計区分	一般会計	施策名	Ｉ－３－１　医療情報化の体制整備の普及を推進すること	
根拠法令（具体的な条項も記載）	－	関係する計画、通知等	平成21年4月：デジタル新時代に向けた新たな戦略～三カ年緊急プラン～ 平成21年7月：i-japan戦略2015 平成22年5月：新たな情報通信技術戦略	
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	インターネットを介して診療情報のやりとりを行う場合のなりすましや改ざんといったリスクを回避するため、医師等の個人が電子署名を活用できるよう、公的資格等の確認機能を有する保健医療福祉分野における公開鍵基盤（HPKI）を普及・啓発するために必要な経費について財政支援を行う。			
事業概要（5行程度以内。別添可）	HPKIカードの発行・配布体制のあり方を検討の上、その導入に向けた体制を整備することにより、保健医療福祉分野認証基盤（HPKI）の普及を目指す。			
実施方法	□直接実施　■委託・請負　□補助　□負担　□交付　□貸付　□その他			

予算額・執行額（単位：百万円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
予算の状況	当初予算					27
	補正予算					
	繰越し等					
	計					27
執行額						
執行率（%）						

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値（　年度）
地域の医療連携において、情報セキュリティの安全性が高まる。	成果実績		－	－	－	－
	達成度	%	－	－	－	

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
HPKIカードの発行枚数	活動実績（当初見込み）		－	－ （　－　）	－ （　－　）	— （　－　）

単位当たりコスト	－	算出根拠	－

平成24・25年度予算内訳

費　目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
普及・啓発委託費	－	27	平成25年度新規要求
計	－	27	

事業所管部局による点検			
	評 価	項　　目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・医療機関間で患者の診療データの相互閲覧を、より安全に行うものであり、優先度が高い事業である。 ・HPKIカードの発行・配布体制を整備し、広く国民へ提供するため、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	－
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	－
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	新規事業として、平成25年度概算要求		

予算監視・効率化チームの所見
保健医療福祉分野の公開鍵基盤（HPKI)普及・啓発事業については、普及及び定着が課題となっている公開鍵基盤（HPKI)について、導入に向けた体制を整備することにより、その普及を目指すものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）
－

補記 （過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）
－

関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	－

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）	※平成23年度実績を記入

費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

B.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

C.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

D.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

E.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

F.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

G.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

H.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支　出　先	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

事業番号　新25-0008

平成２４年行政事業レビューシート　（厚生労働省）

事業名	先進医療評価の迅速・効率化推進事業	担当部局庁	医政局	作成責任者
事業開始・終了（予定）年度	平成25年度～	担当課室	研究開発振興課	課長：佐原康之
会計区分	一般会計	施策名	Ｉ－８－１　新医薬品・医療機器の開発を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること	
根拠法令（具体的な条項も記載）	－	関係する計画、通知等	厚生労働省の定める先進医療及び施設基準の制定等に伴う実施上の留意事項及び先進医療に係る届出等の取扱いについて（医政発0731第2号平成24年7月31日厚生労働省医政局長通知）	
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	先進医療に対する規制緩和を図り、患者保護、最新医療の知見保持の観点で選定した医療機関において、先進医療の評価・確認手続きを簡素化する。			
事業概要（5行程度以内。別添可）	先進医療の評価・確認手続きの簡素化を図るため、一定の要件を満たす医療機関が医療上必要性の高い抗がん剤に関する先進医療を実施する場合の安全性・有効性について、外部機関による実施計画書の評価体制を整備する。			
実施方法	□直接実施　■委託・請負　□補助　□負担　□交付　□貸付　□その他			

予算額・執行額（単位：百万円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
予算の状況	当初予算					39
	補正予算					
	繰越し等					
	計					39
執行額						
執行率（%）						

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値（　年度）
先進医療承認件数	成果実績	回	－	－	－	－
	達成度	%	－	－	－	

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
実施計画書の評価数	活動実績（当初見込み）	細胞	－	－（　－　）	－（　－　）	―（　－　）

単位当たりコスト	－	算出根拠	

平成24・25年度予算内訳

費　目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
医薬品等試験調査委託費		39	平成25年度新規要求
計	0	39	

事業所管部局による点検			
	評 価	項　　目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・医療上必要な抗がん剤の先進医療の迅速・効率化に繋げるため必要な事業である。 ・新成長戦略（H22.6.18閣議決定）などにおいて、先進医療の評価・確認手続きを簡素化することが求められていることから国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	－
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	－
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	新規事業として、平成25年度概算要求		

予算監視・効率化チームの所見
先進医療評価の迅速・効率化推進事業については、国の委託事業として、医療上の必要性の高い抗がん剤の実施計画書の審査等を外部機関が行うものであり、必要性の高い観点から優先度の高い事業である。

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）
－

補記 （過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）
－

関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	－

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）	※平成23年度実績を記入

費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

B.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

C.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

D.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

E.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

F.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

G.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

H.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支　出　先	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

事業番号　新25-0009

平成２４年行政事業レビューシート　（厚生労働省）

事業名	災害に強い次世代型医療情報システムの構築 （独立行政法人国立病院機構設備整備費補助金）	担当部局庁	医政局	作成責任者
事業開始・終了（予定）年度	平成25年度	担当課室	国立病院課　国立病院機構管理室	室長：小須田幸夫
会計区分	特別会計	施策名	Ⅳ－１－５　政策医療を向上・均てん化させる	
根拠法令（具体的な条項も記載）	独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第46条	関係する計画、通知等	－	

事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）

医療の提供について災害発生時においても適切に遂行できることにより、行政のニーズ及び国民のニーズに応じた業務の効率的かつ効果的な実施を確実に図るため。

事業概要（5行程度以内。別添可）

災害により被災した医療機関の診療情報について、被災地以外の医療機関からアクセスし必要な診療情報の書き込みを可能とするなど、災害の影響を受けない、災害に強い次世代型医療情報システムを構築する。構築したシステムは、国立病院機構での実証実験を行うとともに、それをパブリックドメイン化（社会全体の公共財産化）することでシステムの普及を目指す。

実施方法

□直接実施　□委託・請負　■補助　□負担　□交付　□貸付　□その他

予算額・執行額（単位：百万円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
予算の状況	当初予算					14,986
	補正予算					
	繰越し等					
	計					14,986
執行額						
執行率（%）						

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値（　年度）
設備整備についての成果は設備の導入であり、定量的な成果指標の設定は困難である。	成果実績	－	－	－	－	－
	達成度	%	－	－	－	

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
設備整備についての活動を定量的な活動指標をもって設定することは困難である。	活動実績	人	－	－	－	－
	（当初見込み）		（　－　）	（　－　）	（　－　）	（　－　）

単位当たりコスト　－　（円／　　）　　算出根拠　－

平成24・25年度予算内訳

費　目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
事業費等		14,986	
計	0	14,986	

事業所管部局による点検			
	評 価	項　　目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	独立行政法人国立病院機構法第3条に定める国立病院機構の目的については、優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	独立行政法人国立病院機構法第3条に基づき、国の医療政策として国立病院機構が担う事業について予算措置されている。
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	－
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	－
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	－
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	－
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	－
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	－
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	独立行政法人国立病院機構法に定める国立病院機構の目的を遂行する実効性の高い手段と考えている。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	－
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	－
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	－
		※類似事業名とその所管部局・府省名　ー	－
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	－
点検結果	事業の目的や必要性等について精査した結果、現段階では、特段問題はない。		

予算監視・効率化チームの所見
災害に強い次世代型医療情報システムの構築については、被災地以外の医療機関から必要な診療情報の書き込みを可能にするなど、災害の影響を受けない災害に強い次世代型医療情報システムを構築するための事業であり、必要性の観点から優先度の高い事業である。

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）
ー

補記　（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）
ー

関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	ー	平成23年行政事業レビュー	ー

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）	※平成23年度実績を記入

費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

B.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

C.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

D.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

E.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

F.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

G.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

H.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支　出　先	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

事業番号　新25-0010

平成２４年行政事業レビューシート　（厚生労働省）

事業名	国立病院機構の災害対応設備の充実・強化 （独立行政法人国立病院機構施設整備費補助金）	担当部局庁	医政局	作成責任者
事業開始・終了（予定）年度	平成25年度	担当課室	国立病院課　国立病院機構管理室	室長：小須田幸夫
会計区分	特別会計	施策名	Ⅳ－１－５　政策医療を向上・均てん化させる	
根拠法令（具体的な条項も記載）	独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第46条	関係する計画、通知等	－	
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	国立病院機構の災害拠点病院に災害時に備えた自家発電設備の増設、地震等の故障リスク低減など複数系統の自家発電設備を整備することにより、災害対応機能を充実・強化を図る。			
事業概要（5行程度以内。別添可）	災害拠点病院の指定要件を考慮した自家発電設備の増設や地震等による故障リスク低減のための複数系統の自家発電設備の整備を行うことで、災害対応機能を強化する。			
実施方法	□直接実施　□委託・請負　■補助　□負担　□交付　□貸付　□その他			

予算額・執行額（単位：百万円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
予算の状況	当初予算					5,476
	補正予算					
	繰越し等					
	計					5,476
執行額						
執行率（%）						

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値（　年度）
施設整備についての成果は、整備の完了であり、定量的な成果指標の設定は困難である。	成果実績	－	－	－	－	－
	達成度	%	－	－	－	

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
施設整備についての活動を、定量的な活動指標をもって設定することは困難である。	活動実績（当初見込み）	人	－	－	－	－
			（　－　）	（　－　）	（　－　）	（　－　）

単位当たりコスト	－　（円／　）	算出根拠	－

平成24・25年度予算内訳

費　目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
事業費等	0	5,476	
計	0	5,476	

事業所管部局による点検			
	評 価	項　　目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	独立行政法人国立病院機構法第3条に定める国立病院機構の目的については、優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	独立行政法人国立病院機構法第3条に基づき、国の医療政策として国立病院機構が担う事業について予算措置されている。
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	－
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	－
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	－
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	－
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	－
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	－
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	独立行政法人国立病院機構法に定める国立病院機構の目的を遂行する実効性の高い手段と考えている。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	－
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	－
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	－
		※類似事業名とその所管部局・府省名　ー	－
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	－
点検結果	事業の目的や必要性等について精査した結果、現段階では、特段問題はない。		

予算監視・効率化チームの所見

国立病院機構の災害対応設備の充実・強化については、災害拠点病院に災害時に備えた自家発電設備の増設等を行うことにより、災害対応機能の充実・強化を図るための事業であり、必要性の観点から優先度の高い事業である。

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）

ー

補記 （過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）

ー

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年行政事業レビュー	ー	平成23年行政事業レビュー	ー

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）	※平成23年度実績を記入

費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

B.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

C.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

D.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

E.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

F.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

G.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

H.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支　出　先	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

事業番号　新25-0011

平成２５年行政事業レビューシート　（厚生労働省）

事業名	歯科診療情報の標準化に関する実証事業	担当部局庁	医政局	作成責任者
事業開始・終了(予定) 年度	平成25年度～	担当課室	歯科保健課	課長：上條英之
会計区分	一般会計	施策名	Ｉ－１－１　日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること	
根拠法令（具体的な条項も記載）	－	関係する計画、通知等	－	

事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）

歯科医療機関が、電子カルテにおいて保有する身元確認に資する歯科診療情報の標準化を行う。

事業概要（5行程度以内。別添可）

大規模災害による身元不明遺体の照会に備え、歯科医療機関が電子カルテにおいて保有する身元確認に資する診療情報の標準化とその活用の在り方に関する検討会を行い、その内容をモデル事業を通じて実証する。

実施方法　□直接実施　■委託・請負　□補助　□負担　□交付　□貸付　□その他

予算額・執行額（単位：百万円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
予算の状況	当初予算					21
	補正予算					
	繰越し等					
	計					21
執行額						
執行率（%）						

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値（24年度）
標準化に取り組む歯科診療所数	成果実績	数	－	―	－	－
	達成度	%	－	－	－	

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
身元確認に資する診療情報の標準化を行う	活動実績（当初見込み）	数	－	－（　－　）	－（　－　）	－（　－　）

単位当たりコスト　－　　算出根拠　－

平成24・25年度予算内訳

費　目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
委託費	－	21	平成25年度新規要求
計	－	21	

事業所管部局による点検			
	評 価	項　　目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・国として東日本大震災での教訓を踏まえ、今後起こりうる大規模災害による身元不明遺体の照会に備え、身元確認に資する歯科診療情報の標準化を行うことにより、国民が安心した生活を営めるよう優先度的に実施する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	－
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	－
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	新規事業として、平成25年度概算要求		

予算監視・効率化チームの所見
歯科診療情報の標準化に関する実証事業については、歯科医療機関が所有する歯科診療情報の活用のあり方に関する検討を行うためのものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）
－

補記 （過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）
－

関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	－

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）	

費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

	費 目	使 途	金 額（百万円）
	計		0

	費 目	使 途	金 額（百万円）
	計		0.0

	費 目	使 途	金 額（百万円）
	計		0

	費 目	使 途	金 額（百万円）
	計		0

	費 目	使 途	金 額（百万円）
	計		0

	費 目	使 途	金 額（百万円）
	計		0

	費 目	使 途	金 額（百万円）
	計		0

	費 目	使 途	金 額（百万円）
	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支　出　先	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	入札者数	落札率
1					

B.

	支　出　先	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	入札者数	落札率
1					